

携帯メール連携機能 p m a i l 導入手順書

動作の概要

システムで定めたメールアドレスに、画像付携帯メールを送信すると、公開ディレクトリのクリップファイルに登録します。メールアドレスは、公開ディレクトリごとに設定できます。

動作例.

利用者が To: vvking@pushcorn.jp に画像付メールを送信します。

↓

<http://pushcorn.jp/vvking/pushcorn> のクリップ(例. pp2006)に添付した画像がクリップ登録されます。クリップ名は年毎に変わります。メールの標題はクリップのタイトル、本文はクリップのコメントになります。

システム要件

次のシステムを導入して稼動するようにしておく必要があります。

メールサーバ: Postfix

Perl モジュール: MIME::Explode 0.37

インストール方法

前提条件

インストールの前提条件は次のとおりです。(例)

(サーバー環境により読み替えて下さい)

PushCorn のソースディレクトリ: /home/pp/src

すでに公開しているディレクトリ: /home/vvking

PushCorn の管理権限(ユーザ/グループ): nobody / nobody

携帯メール送信先アドレス: vvking@pushcorn.jp

受信ユーザアカウントの作成 (ログインアカウントのことです)

メール受信用のユーザアカウント(1 個)を作成して、メールを受信できるように設定します。

ユーザ名: pushcorn (任意の名前)

ホームディレクトリ: /home/pushcorn (任意のディレクトリ)

グループ権限: nobody (pushcorn の管理権限と一致)

メールアドレス: pushcorn@ngc.intec.co.jp

スクリプトのコピー

携帯メール連携に必要なスクリプトファイルをコピーします.

```
cp pmail/mm*.pl /home/pushcorn
cp pmail/userinfo /home/pushcorn
cp pmail/pushcorn.ini /home/pp/src/ini
cp pmail/push-new.pl /home/pp/src
cp pmail/mmstore.pl pmail/mmdistrfile.pl /home/pp/src/pushcorn
```

すでに公開しているディレクトリがあれば,その pushcorn ディレクトリにもすべて同様にコピーしてください.

```
cp pmail/mmstore.pl pmail/mmdistrfile.pl /home/vvking/pushcorn
```

INI ファイルの修正

すでに公開ディレクトリ下があれば,ini ディレクトリの pushcorn.ini ファイルに, 次の行を追加してください.

```
# メール一時保管ディレクトリの設定(携帯メール用)
$GINI_LOCAL_SPOOL="$GINI_LOCAL_PATH/spool";
```

スクリプトファイルの修正

mmimport.pl と mmcron.pl の設定値を次のように修正します.

```
mmimport.pl の 39 行
$DEFAULTPATH="/home/pushcorn"; (配置したディレクトリを指定します)
```

```
mmcron.pl の 42 行
$DEFAULTPATH="/home/pushcorn"; (配置したディレクトリを指定します)
```

ディレクトリ権限の変更

スクリプトを動かすためのディレクトリ権限を設定します.

```
cd /home/pushcorn
mkdir _temp
chown nobody _temp
chgrp nobody _temp
chmon 777 _temp
```

すでに公開しているディレクトリがあれば、そこにメール一時保管用のディレクトリ (\$GINI_LOCAL_SPOOL で設定したもの) を設定します。

```
cd /home/vvking
mkdir spool ($GINI_LOCAL_SPOOL で設定したディレクトリ)
chmod 777 spool
```

USERINFO ファイルの設定

携帯メール受信用ユーザ情報の設定ファイルを編集します。

```
vi /home/pushcorn/userinfo
```

各行を「ユーザ名<タブ>公開ディレクトリ名<改行>」形式で追加します。
ユーザ名は送信用アドレスのユーザ名(@より左側, **vvking** など), ディレクトリ名は公開ディレクトリの名前(/home/vvking など)です。空行または#で始まる行(コメント)は無視します。

CRONTAB の設定

CRONTAB を設定します。

```
crontab -u nobody -e
```

5分おきに更新する場合には、次のように設定します。

```
00-59/5 * * * * /home/pushcorn/mmcron.pl /home/pushcorn
```

Postfix の設定

/etc/postfix/main.cf に次の行を追加します。

```
virtual_alias_maps=hash:/etc/postfix/virtual
virtual_maps=hash:/etc/postfix/virtual
```

/etc/postfix/virtual に次の行を追加します.

```
pushcorn.jp anything
@pushcorn.jp pushcorn@ngc.intec.co.jp
```

システムを再起動します.

```
postmap /etc/postfix/virtual
postfix reload
```

受信ユーザのメール転送設定から, スクリプトが起動できるように設定します.

```
cd /home/pushcorn
echo '| /home/pushcorn/mmimport.pl' > .forward
```

以上.